

市では毎年6月と12月、税金がどのように使われたかをお知らせするため、一般会計、特別会計、企業会計の財政状況を公表しています。

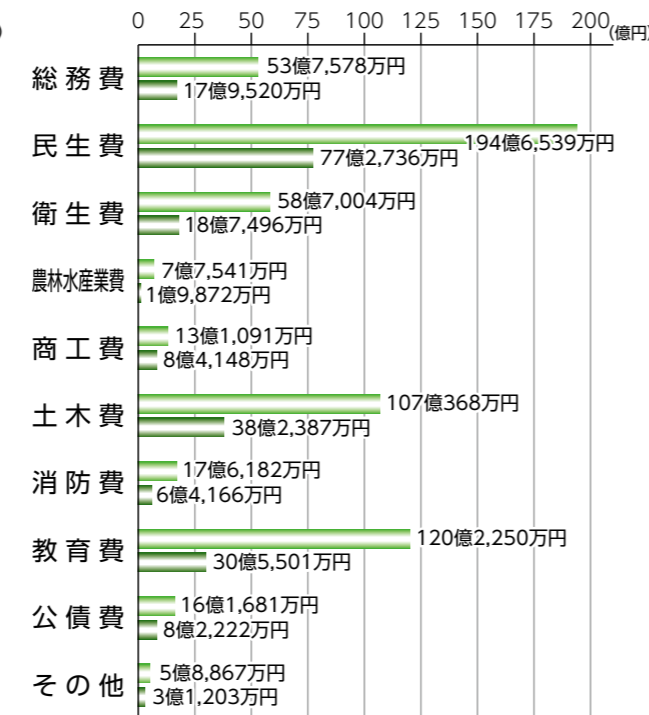
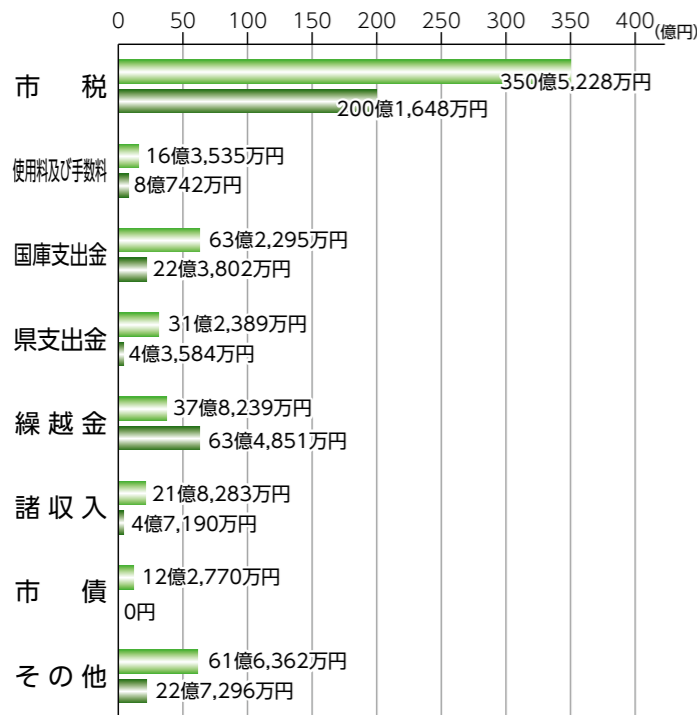
今回は、28年度上半期（9月30日現在）の予算執行状況をお知らせします。

◆一般会計(歳入)

予算現額	594億9,101万円
収入済額	325億9,113万円
収入率	54.8%

◆一般会計(歳出)

予算現額	594億9,101万円
支出済額	210億9,251万円
執行率	35.5%



財政状況をお知らせします

28年度上半期（9月30日現在）

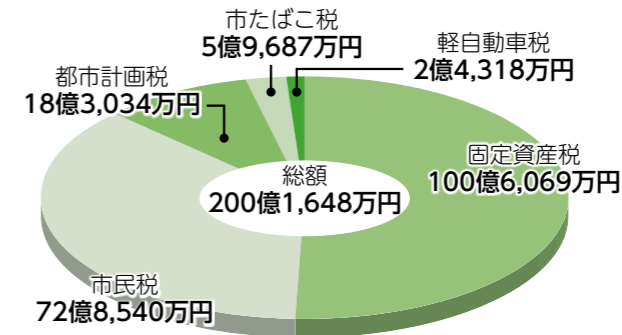
問 財務課 (☎62-1006)

市税の負担状況

1人当たり
133,389円

1世帯当たり
313,100円

市税収入済額内訳



市有財産の状況

土地
3,360,977.02㎡

建物
554,021.12㎡

基金
214億7,505万円

市債の状況

◆一般会計

借入目的	現在高
教育債	20億8,550万円
土木・公営住宅債	13億5,089万円
総務債	9億576万円
衛生債	4億4,034万円
民生債	1億8,499万円
消防債	3,266万円
その他	23億7,562万円
計	73億7,576万円

◆特別会計

会計区分	現在高
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	2億9,098万円
下水道事業	223億2,557万円
計	226億1,655万円

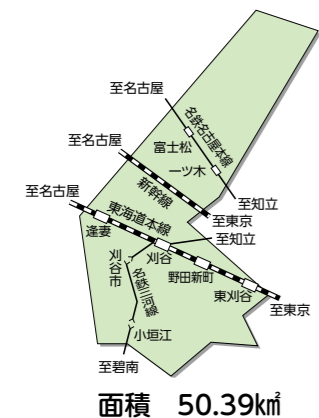
◆企業会計

水道事業	16億8,858万円
------	------------

◆基礎数値◆

人口
150,061人

世帯数
63,930世帯



◆特別会計

会計区分	予算現額	収入済額	支出済額
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	3億8,780万円	3億5,934万円	6,527万円
刈谷野田北部土地区画整理事業	1億2,198万円	1億6,387万円	1,205万円
下水道事業	54億3,775万円	34億5,130万円	16億1,097万円
国民健康保険	138億578万円	63億6,189万円	57億6,211万円
後期高齢者医療	16億1,962万円	5億1,285万円	3億201万円
介護保険	76億2,972万円	36億131万円	28億4,906万円
計	290億265万円	144億5,056万円	106億147万円

◆水道事業会計

区分	予算現額	執行額
収益的収入	28億7,333万円	13億127万円
収益的支出	26億9,026万円	9億1,517万円
資本的収入	5億4,730万円	3,001万円
資本的支出	14億1,084万円	10億191万円

健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、地方公共団体は毎年度、財政状況をチェックするため健全化判断比率を示す4つの指標と公営企業の資金不足比率を算定し、公表することとなっています。そこで、市の27年度決算に基づく数値をお知らせします（表中の「-」は、実質的な赤字、将来負担、資金不足が発生していないことを表しています）。

◆健全化判断比率

(単位：%)

指標名	刈谷市	早期健全化基準
実質赤字比率	-	11.48
連結実質赤字比率	-	16.48
実質公債費比率	△0.7	25.0
将来負担比率	-	350.0

実質赤字比率 一般会計等が黒字か赤字かを示す指標
 連結実質赤字比率 全会計で見た場合の黒字か赤字かを示す指標
 実質公債費比率 一般会計等が負担する公債費の比率を示す指標
 将来負担比率 一般会計等が将来負担すべき負債の比率を示す指標
 早期健全化基準 財政健全化への取組が必要となる基準値

◆資金不足比率

(単位：%)

公営企業会計名	刈谷市	経営健全化基準
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業特別会計	-	20.0
刈谷野田北部土地区画整理事業特別会計	-	
下水道事業特別会計	-	
水道事業会計	-	

資金不足比率 企業の経営が黒字か赤字かを示す指標
 経営健全化基準 財政健全化への取組が必要となる基準値

総評・・・市は、全ての指標で基準を下回り、財政状況は健全であると言えます。

※各項目は、一部端数調整したものを除いて、表示単位未満を四捨五入しています。